

地域の実情と課題

○全国平均と比べ、非正規の職に就いている女性の割合が多く、また、東西に長く離島を有するためエリア間の往来に時間を要する本県は、孤独・孤立で不安や課題を抱える女性を支援する民間団体も少なく、県内各地にまで支援が行き届いていない状況がある。

○支援団体のない県西部、離島地域、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により困難や不安を抱える層にも支援を届ける体制づくりが必要。

事業の特徴

○相談会等事業については、各委託団体が、これまでそれぞれの地域を拠点に実施してきた集いの場の提供、相談会等の取組を拡大。県内各地に活動を広げ、相談交流会やSNSの活用等、困難を抱える女性同士が繋がる居場所づくりを推進。

○相談者の抱える課題に応じて、県内関係機関と連携を図るとともに、連携後の適切なフォローアップや自立に向けた継続的な支援を実施。

事業の効果

○これまで支援が届かなかった地域に出向き、県内各地の様々な困難を抱える女性へ支援を拡大できた。(相談交流会参加者:両団体合計延べ212名)

○シングルマザー支援団体が実施する相談交流会は、全会場で満足度100%であった。

○委託団体と参加者がつながり、更には参加者同士が定期的な相談交流会を通してつながることで、安心して相談できる場(相手)の確保ができ、孤立防止に結び付いた。

目的・目標

○シングルマザー支援団体における相談件数の増加 594件(目標300件以上)

○シングルマザー支援団体における各地域の個別相談窓口の設置4カ所(目標5カ所以上)

○母子寡婦支援団体が主催する相談会・交流会参加者の増加 107名(目標 100名以上)

※県内各地の幅広い女性が相談しやすい環境が整いつつある。

連携団体

○以下2団体へ委託

- ・相談会交流会等
しんぐるまざあず・ふぉーらむ出雲(島根)
一般財団法人 島根県母子寡婦福祉連合会

○上記団体を中心に下記団体が連携

- ・各市町村担当課、社会福祉協議会、児童相談所、女性相談センター、県内開業助産院、こども食堂等

今後の課題

○相談者の掘り起こしを行うため、若年女性や相談交流会に参加しづらい女性等に向けたアプローチ方法を工夫すること。

○相談者の自立に向けた継続的、専門的な支援やアフターフォローを行いつつ、女性の抱える多様な悩みに対応できる支援者の育成、スキルアップを図ること。

○どの地域からも気軽に相談できるオンライン相談を増加させるため、各市町村関係機関へ更なる周知を行うこと。

女性のつながりサポート相談事業

対象者

シングル女性・ひとり親女性・一般女性等

▼相談交流会の様子①



▲案内チラシ

- ・案内チラシ・SNS等による情報発信
- ・衛生用品の配布による交流会参加のきっかけづくり

委託団体: しんぐるまざあず・ふぉーらむ出雲(島根)
一般財団法人 島根県母子寡婦福祉連合会

- ・県内各地で相談交流会を実施(計30回実施)
- ・電話やメール、SNS等を活用した個別相談対応(計533件)

情報共有

専門支援相談機関につなぐ等、適切なフォローアップ

連携

〈県内関係機関〉

市町村・社会福祉協議会・児童相談所・女性相談センター・開業助産院・子ども食堂等

▼相談交流会の様子②

